

嶋元 佳子氏 学位審査結果の要旨

主査：飯田 寛和

副査：藺田 精昭、木梨 達雄

Rheumatoid arthritis に対する薬物療法は、近年の各種生物学的製剤の導入により著しい治療効果が上がっている。しかし、個々の症例に対する治療効果は様々であり、事前にその感受性を予測しうる指標となるバイオマーカーが求められている。本研究は、治療前後の患者血清について7種類の炎症性サイトカインの定量を行い、治療前後の疾患活動性の指標である DAS28 との相関から、抗 IL-6 受容体抗体であるトシリズマブの治療効果を予測できるバイオマーカーについて検討したものである。その結果、治療前 IL-6 値はトシリズマブ治療後の DAS28 と正の相関を示した。また、治療後 DAS28 により分類した good responder 群では治療前 IL-6 が優位に低値であった。本研究は、治療前 IL-6 値がトシリズマブの治療効果を予想しうるバイオマーカーであることを初めて示したもので、学位に値すると判断した。